



次回のこの欄に登場するのは、あなたかも？
身近なニュース、まちの話題などをお知らせください
☎情報政策課広報係 ☎22-1411 (内線431)

「観光ボランティアガイド」をこ
存じでしょうか？ 彦根城や玄宮園
で申し込みのあった観光客を案内し
たり、市内の主な観光スポットを結
ぶ「彦根ご城下巡回バス」に同乗し
て説明するボランティアで、現在
30人ほどいらっしゃいます。
そのボランティアガイドを養成す
る講座が初めて開かれ、私も参加す
ることにしました。

全部で6回のコースで、彦根のま
ちの始まりや彦根城について勉強し
ます。3月5日は3回目の講座で、
ボンネットバスに乗って龍潭寺、
大洞弁財天、天寧寺などを訪れ、住
職さんに説明を聞いたりしました。
勤めを退職したので、今は時間だ
けは贅沢にあります。27年前から彦
根に住んでいますが、今でも彦根が
大好きです。
好きになつたきつかけはNHK大河
ドラマ「花の生涯」で、たか女や長
野主善の生き様に感銘を受けたもの
です。
観光で彦根を訪れた人たちとふれ
あいながら、彦根のすばらしさを伝
えられたら楽しいだろうな、と思っ
ています。

「彦根のすばらしさを伝えます」

石谷 彬さん (大藪町)

▼ガイド勉強中の石谷さん



▲大洞弁財天で住職の説明を聞く参加者の皆さん



▲「雲の形が気に入っています。モデルは僕の兄です (鈴木さん)」



▲4枚レンズの愛機を手にする鈴木さん

「電車を撮ろうと思っていましたが、運よく標識が入ってくれました (鈴木さん)」

「写真なら、自分が出せます」

滋賀大学写真部 鈴木洋介さん (古沢町)

僕たち4回生が卒業するにあ
たって、滋賀大学写真部の写真
展を市民ギャラリーで開きまし
た。タイトルは「墓標」。僕た
ちがここに生きた証という意味
です。写真展では、タイトルに
ふさわしく、自分の出したいも
のが全部出せたと思います。後
輩たちにも、何かを残せたので
はないでしょうか。

画面が4つに分かれた写真は、
レンズの4つある特殊なカ
メラで撮りました。1回ボタン
を押すと4回シャッターが切れ
ます。普通に撮ると同じような
画面が並ぶだけなので、走った
り、振り回したりして、変化を
つけるよう工夫しています。
1回生のころは風景写真はか
りを撮っていました。けれども、
今は身近な人を気軽に撮る方が
気に入っています。大学時代の
4年間で、だいぶ写真に「自分
を出せるようになりました。口
べたなので、今では写真がいち
ばん自分を表現できるように思
います。